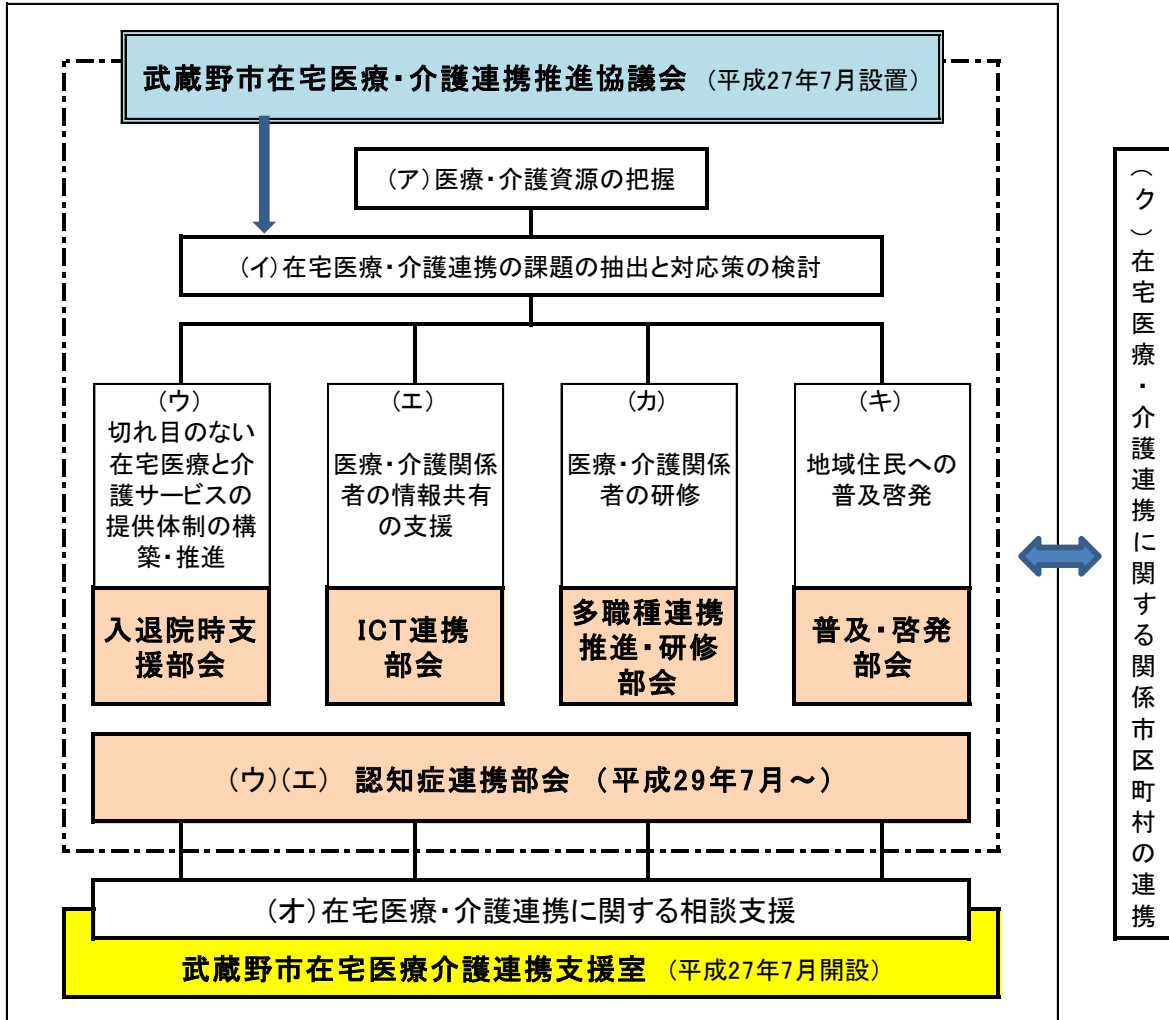


武蔵野市在宅医療・介護連携推進事業

1. 在宅医療・介護連携推進協議会と5部会について



2. 平成30年度の取組み状況について

- (ア) リハビリテーションナビの情報更新。
- (イ) 協議会を3回開催。5部会で活動。
- (ウ) ・入院時の病院への情報提供の仕方について検討。
 - ・「入院時情報連携シート」を作成。2か月間試行後、アンケート調査を実施。
- (エ) ・MCS登録数 (31年2月末現在) 562件。
 - ・在宅医療介護連携支援室のホームページの内容について検討。
- (オ) 相談実績 (30年4月～1月末) 172件。
- (カ) ・「薬に関すること」をテーマに合同グループワークを実施、78名参加。
 - ・12月に3か月後アンケートを実施 (回収率74%) し、合同グループワークの効果を確認。

- ・職種ごとに薬に関する研修を行うなどすそ野の広がりがみられた。
- (キ)・市民セミナー開催。2月16日(土) スイニングホール 178名参加。
「住み慣れた地域で、最期まで自分らしく暮らし続けるために～いのちの終わりについて話し合うアドバンス・ケア・プランニング(ACP)～」
- ・地域で行う小規模セミナー試行実施。3月11日(月)いきいきサロン 7名参加。
- ・「ケアリンピック武蔵野2018」 868名参加
- (ク) 北多摩南部保健医療圏や東京都在宅療養担当者連絡会への参加、情報共有。

3. 平成31年度について

在宅医療・介護連携推進事業としてのテーマを設定し、テーマと関連した活動を部会で行う。

①<新規事業>在宅医療介護連携支援室のホームページ開設…(ア)(エ)(オ)

運営委託費：506千円

目的：多職種の連携、専門職間の情報共有。

内容：情報の発信。

MCSをより普及させるツールとして活用。

マップ機能

②入退院時支援の検討…(ウ)

- ・「入院時情報連携シート」の運用範囲を拡大して運用し評価を行う。
- ・入院から退院までを見据えた支援について検討を行う。

③多職種連携推進・研修…(カ)

- ・設定したテーマを担当する団体に関わっていただきながら、合同グループワークを従来の規模で実施する。

④普及・啓発…(キ)

在宅医療・介護連携推進事業として設定したテーマに沿った周知・啓発の活動を行う。

4. 予算額

8,936千円



▲多職種連携合同グループワークの様子 (H31 9/27)